令和　7　年度　学校評価書　（ 計画段階 ）

福岡県立 小倉南 高等学校

スクール・ミッション （本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像）	鍛え、褒め、多様な学びの中で生徒の可能性を最大限に伸ばし、「自走力」を育成する学校 独自の体系的なキャリア教育「ネオ・サザンクロスプラン」等の実践を通して、本質を極められる確かな学力と自他を尊重する精神を持ち、自ら考え仲間とともに学びながら時代の変化に柔軟に適応できる、たくましい人材を育成します。	
スクール・ポリシー （三つの方針）	グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に 関する方針）	・何事にも意欲的・主体的に取り組み、自己実現を目指す生徒の育成 ・変化に柔軟に適応し、豊かな人生を自ら切り拓く力の育成 ・自己肯定感を高め、自他ともに価値ある存在として認めることのできる人権尊重の精神の涵養
	カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に 関する方針）	・他者と協働した探究的な学びによる「思考力・判断力・表現力」の育成 ・基礎・基本の徹底により「知識・技能」を確実に習得させる指導 ・ICTや少人数制を利用したきめ細やかな個別最適な学びの提供
	アドミッション・ポリシー （入学者の受け入れに 関する方針）	・希望進路の実現に向け、たゆみなく真摯に努力できる生徒 ・文武両道に励み、失敗を怖れず、何事にも果敢に挑戦する生徒 ・本校での学びをとおして、将来の夢を見つけたい生徒

学校運営計画（4月）

学校運営方針	歴史と伝統、南高PRIDEを継承し、凡事徹底を掲げ、個別最適化された学びの実現を目指し、社会において活躍できる生徒の育成を推進する。また、主体的に進路を選択する力、粘り強く取り組む力、社会の変化に柔軟に対応できる力を培い、信頼度の高い学校文化を構築する。		評価 （総合）
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
学校行事については、生徒の主体的・協働的な学びを大切にした教育活動を実践することができた。本校の強みである「高みを目指し、自己実現を図る姿勢の育成」により、個々の進路希望・選択に即した進路実績に結びつけることができた。 地域に根差した、必要とされる学校づくりのために教育課程や教務内規の改定を行う等カリキュラム・マネジメントを推進した。また、1単位45分授業に改変し、放課後を有意義に活用できるよう環境整備を行い、生徒の主体的な学習や授業の学び直しを促した。教員にとっても働き方改革の一助となり、個々の生徒にゆとりをもって指導・支援ができるようになった。 本年度は校内研修をさらに充実させ、ICT活用能力の向上および個別最適化された学びを推進することにより、個々の可能性を最大限に引き出せるよう努めていかなければならない。また、社会や時代の変化に伴い、校則の見直しを行うとともに、HPやSNS、PR紙の活用を積極的に行い、本校の教育活動を組織的に適宜発信していく必要がある。	凡事徹底を日々の教育活動の中で積み上げていくことにより全人的な成長を促し、互いの良さや可能性を認めあえる人権尊重の精神の寛容を図る。 様々な体験活動や他者と協働した探究的な学びの機会を設定し「思考力・判断力・表現力および学びに向かう力」を高める。 学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、実社会での課題解決に生かしていくための教科等横断的な学びに取り組む。 個別最適化された学びを提供するために、1人1台端末を有効に活用するとともに教職員のICT活用能力をさらに高める。 教師力の向上を図り「チーム南高」としての学校力を高めるとともに学校のブランド化を図り生徒・保護者の期待に応え地域に愛される学校を目指す。 教育活動全体を対象とした戦略的広報活動を推進し、生徒募集につなげる。	全教育活動を通じ個人が大切にされた環境を作り（生徒への丁寧な呼名・言葉遣い、校内の掲示物、清掃状況等）、自尊感情の育成と将来への展望が持てる人権教育を推進する。 安易な欠席遅刻を無くし、学習に向かう環境づくりを推進する。（出席率98%以上） 研修をとおしてクロームブックやICT等の活用能力を高め、個別最適化された学びを目指す。（研修年3回） 新しい視点を取り入れた研究授業と教科科目横断型授業を行う。（各教科1回） 総合的な探究の時間等を活用し、大学や企業等と積極的に連携し探究的な学びを実践する。 担任の進路面談（年3回）による個に応じた進路指導と小論文を含む徹底した大学問題研究により生徒の進路実現を支援する。（国公立合格80名以上(九大1名を含む)、難関私大） 教育活動全体を通じた前向きな生徒指導により、自律的に考え行動できる生徒を育てるとともに部活動を活性化する。(加入率80%以上) HPやSNS、PR紙の活用及び学校説明会などをとおして本校の教育活動を組織的に適宜発信していく。（タイムリーなHPの更新、インスタグラム等の積極的な活用） アンケートを活用して各学校行事の改善を行うとともに、卒業時のアンケートで学校満足度90%以上を目指す。	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
学習指導	主体的学習態度の育成	面談等を通して生徒一人ひとりの状況を把握し、個に応じた適切な指導を行うことにより、安易な遅刻欠席の改善に努め、学習に向かう環境作りを行う。出席率　1年生:99.5%　2年生99.0%　3年生99.0%　を目指す。	・授業アンケート ・学習時間調査	
		ライフレポートを有効活用することで、生徒の振り返り・学習活動につながる適切な指導を行い、生徒の自己管理能力を育成する。自宅学習時間（一日平均）1年：120分　2年：140分　3年：160分以上を目指す。		
		「図書館だより」や「新刊案内」の発行や朝読書週間などの取組、授業での図書館の活用により、本に親しむ態度を育成し、読書による思考力の伸長を図る。図書貸出冊数:7冊／人を目指す。		
	授業改善による教科指導力の向上及び、カリキュラム・マネジメントの推進	授業アンケートを年2回行い、年間指導計画で設定した目標や課題に沿った授業展開ができるように、積極的な授業改善を行う。	・授業アンケート ・学習時間調査	
		生徒の「１人１台タブレット」を有効活用し、ICTを利用した「個別最適な学び」や、「協働的な学び」を推進する。		
		より良い授業の実施のために、観点別評価による学習評価を行い、授業改善につなげていく。また、評価方法の検証を行い、課題を発見することで、より良い評価方法へのブラッシュアップを図る。		
１　広報業務 ２　庶務業務 ３　PTA業務と職員福利厚生業務	広報活動の効果的な実施	中学生や保護者及び地域に本校の魅力を効果的に伝えるために、学校案内パンフレット・ポスター、チラシ等の広報物を作成し、中学校等に配布する。	・中学生進路相談事業事後アンケート ・中学生体験入学事後アンケート	
		本校の魅力を効果的に伝えるために、各部課と連携して充実した中学校体験入学を企画・実施する。		
	校内行事の円滑な実施と運営	行事・儀式等の円滑な実施のため、各部課と企画・立案の調整に努める。		
		各行事等の細目の職員への周知徹底を図るため、2ヶ月分行事予定表を毎月中旬までに作成し配布する。		
	PTA活動の積極的な推進と職員福利厚生の充実	PTA活動を積極的に推進するために、PTA総会、総務会（年4回程度実施）、理事会（総務会後）、PTA諸行事の実施を的確に調整する。		
		親和会会計を適切に実施し、衛生的な職員室環境を定期的に維持する。		

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
生徒指導	基本的生活習慣を確立と社会規範・校則遵守の精神の涵養	凡事徹底を日々の学校生活や特別活動において実践し、自己指導能力の育成に努める。すべての学校活動において社会人として通用する教育活動をおこなう。（基本的生活習慣目標　出席率99.3%）	・各学校行事における教員と生徒（場合によっては保護者）に対するアンケート	
		「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止に対する全職員・生徒の意識の高揚を図る。また、問題が発生したときには速やかに対応にあたる。また、Google Formsを活用してアンケートを行い、統計分析を行う。		
		「自走力」の育成を図り、生活指導を徹底する。また、校則等のルールについては、生徒、保護者の意見を反映して常に見直しを行い、その上でルールを守るよう指導し、規範意識を育成する。		
	特別活動や部活動をとおした指導による、愛校心や帰属意識の向上	特別活動・部活動やボランティア活動等の多様な他者との関わり合いをとおして、各自の果たすべき役割を認識し、逞しい人間力を育成する。（部活動加入率80%以上　県大会出場　運動部20以上　文化部5以上　九州大会3以上　全国大会2以上		
		生徒が主体的に取り組めるよう、昨年度の反省や生徒のアンケート内容を学校行事に反映させる。そして生徒に主体で行っている意識を持たせることで、達成感を味わわせ、南高生としての帰属意識を高める。		
		友人と協力し互いの良さを発揮できる人権尊重の精神を育む。また、様々な学校での活動をとおして、社会に通用する生徒の創造力向上を図る。		
保健安全指導	ワンヘルスに基づく健康管理	「福岡県ワンヘルス推進基本条例」に基づき、ワンヘルスの考え方を職員が理解した上で、感染症に関する理解を深め、生徒全員がより良い学校生活を送り、自主的に行動できるよう健康管理を徹底させる。	・美化委員会・保健委員会の生徒会執行部担当生徒に対して、月1回の定例委員会におけるアンケート	
		保健室利用状況を関係職員で情報共有する。保健委員会が毎月1回発行する保健だより等により、心身の健康に関する意識を高める。また生徒が「保健だより」を作成することで生徒の意識を高める。（保健だより定期的発行　年間10回以上）		
	安全管理及び環境美化や環境衛生に関する意識の向上	教員と生徒に対して各区域における清掃マニュアルを作成し、初期指導を実施することにより日々の清掃活動の充実を計り、掃除監督を徹底し、校内美化意識の向上とともに、愛校心の向上を図る。		
		美化委員会・保健委員会の活動をとおして、環境衛生に関わり、美化・保健意識を向上させる。定例の美化委員会・保健委員会を実施し、活動を活性化する。（月１回の定例委員会）保健委員による、手洗い用の液体洗剤の点検補充活動を通じて、感染症対策の充実を図る。各々の行事前に美化点検活動を行い、校内環境の向上を意識させる。		
	教育相談活動の推進と生徒支援活動の充実	生徒支援にかかわる情報を、関係職員で共有する。必要に応じて、ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ(SC)や専門機関等との連携を図る。また、気になる生徒については関係職員で会議を実施し、情報を共有する。（配慮を要する生徒の情報交換会　年2回以上）		
		特別支援の必要な生徒に関して、保護者、ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ(SC)、専門機関等との連携を推進し生徒支援を充実させる。個別の教育支援計画を作成し、支援の方向性を共通理解する。（診断生徒の支援計画作成率100%）		

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
進路指導 ・ネオサザンクロスプラン	・進路意識の確立 生徒・保護者・教員の共通認識による、適正な進路希望の早期確立	年に1回はオープンキャンパスに参加し、進路について自ら学び自ら考える生徒の育成を図る。	・課外選択希望調査 ・進路希望調査 ・共通テスト受験調査	
		生徒対象の進路講演会を年1回以上開き、自己実現を図る姿勢を育成する。		
		卒業生の学びや進路実績、進路関係のスケジュールを把握することで、自ら情報収集をする生徒を育成する。		
		ネオ・サザンクロスプランを軸として、夏期・秋期・冬期に体験的なキャリア教育活動や集団学習会・補講授業を実施する。		
		大学、企業、地域との連携によるキャリア教育を各学年適宜実施する。		
		（第3学年）保護者対象の進路説明会を実施し、生徒の進路実現に向けての支援体制を整備する。		
修学・進路支援	校内外での支援の連携	経済的・個別的な課題を抱えた生徒の支援を行い、確かな修学・進路保障を図る。生徒の修学困難な理由を学年と連携して早期に把握し、その課題解決のための手段を講じる。	・人権学習事後アンケート ・新規学卒予定者に係る求職動向調査 ・新入学生にむけての人権・同和教育アンケート	
	外部機関との連携	就職、公務員希望者の進路実現達成のための支援を図る。外部機関との連携を通じて適正な選考が行われるように就学・就労支援に取り組む。生徒に還元できる情報を収集する。		
	家庭状況の理解・把握 事務室と連携	日本学生支援機構など奨学金の情報を、効果的に活用できるように取り組む。支援金や給付金については事務室と連携して確実に取り組む。		

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
職員研修	教師力の向上を図るための校内研修の充実	関係部署との調整を行い、年間8回以上の校内研修の実施を目指す。また、若年教員研修を充実させ、活躍できる若年教員を育成する。	・校内研修についてのアンケート ・授業参観シート ・インスタグラムのフォロワー数	
	教育実習生の指導	関係部署との調整を図り、充実した教育実習を実施し、将来の後継者育成を目指す。		
	将来につなげるための研修紀要の作成	校内外の研修や研究活動の成果を年度末に研究紀要「紀要南薫」にまとめ、今後の教育活動に生かす。		
教育の情報化	ICT機器利用促進のための研修会やマニュアル作成	統合型校務支援システムへのスムーズな運用・電子黒板や生徒用タブレット端末の効果的な活用、その他教育の情報化の推進を目指し、研修会の実施やマニュアル作成を3件以上実施する。		
	ICT環境の整備・改善	校内のネットワーク環境の効果的な活用を目指し、不具合の改善や、古い機器の更新など校内で実施できる整備や改善を年間10件以上実施する。		
	中学生・保護者・地域・卒業生への情報発信	学校ホームページを月6回以上の頻度で更新し、情報発信を行う。インスタグラムへの投稿を月6回以上行い、教育活動の発信を行う。		
1学年指導	授業規律の確立と基礎学力の定着	黙想の励行、チャイムからチャイムまでの授業を実施することで授業規律を確立していく。また、出席率を99.5%以上を目標とする。	・学校生活アンケート ・ライフレポート ・進路希望調査	
		生徒の実態に応じた「わかる授業」、主体的・対話的な授業実践をするとともに朝テスト等を活用して個々の基礎学力の定着と向上を図る。		
	基本的生活習慣の定着	時間の厳守、挨拶の励行、適切な言葉遣いの指導等を通して規範意識を身につけさせる。家庭学習時間は、1日平均120分以上を目標とする。		
		3年間を見据えた指導を展開していく。特に学年当初の初期指導を通して集団としての社会性を養う。		
	将来を見据えた進路選択	キャリア教育課と連携を図り、サマースクールやウインタースクール等を通してより高みを目指した進路希望を持たせられるよう指導する。また、1月進研模試総合3教科のGTZのA3 45名以上、B1 90名以上を目標にする。		
		教育課程説明会や進路講演会、学年通信等を活用して生徒・保護者に適切な進路選択のための情報提供を行う。		
	生徒・保護者・地域の期待に応える教育実践	教育活動全般を通して人権意識の高揚につとめ、適切な人間関係の構築を図る。		

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
2学年指導	習熟度別クラス編成による学力等の育成	自ら学習する意欲を高めることで、家庭学習時間の確保に努めさせる。	・学校生活アンケート ・ライフレポート ・進路希望調査	
		習熟度別授業により生徒の能力に応じた授業の実践により、個々の基礎学力の定着と向上を図る。		
	学校の中核としての人材の育成	学年としてリーダーシップを発揮できるようフォロワーの指導を強化する。		
		定期的な学年集会で3年次に活躍できるリーダーを育成する。		
	具体的進路目標の設定	進路部と連携し、適切な進路情報の提供と進路意識の高揚に努める。		
		各学期に進路面談を行い、適切な進路選択と進路目標の早期設定を促す。		
		模擬試験に対する取り組みを充実させるとともに、結果を分析し、適切な進路指導を実践する。		
	生徒・保護者・地域の期待に応える教育実践	学校生活全般を通して、校訓の精神を自覚させるとともに、人権意識の高揚につとめる。		
3学年指導	進路別クラス編成による学力の伸長	希望進路に応じた授業展開を工夫していくとともに、適切に課題を課していくことで、1日平均160分以上の学習時間を確保させる。	・学校生活アンケート ・ライフレポート ・進路希望調査	
		授業や課題配信等にICTを活用し、効率的に学力の定着を図り、生徒が自らの限界突破に挑戦できるような環境づくりを進める。		
	自主・創造・親愛の精神と愛校心の育成	学校行事をとおしてリーダーとフォロワーの役割を理解させ、学年として学校全体を牽引できるリーダーシップを発揮できるよう指導する。		
		「自主・創造・親愛」の精神を自覚させるとともに、最上級学年としての矜持をもたせる。		
	進路目標の実現	進路説明会や学年通信等で保護者にも適切な進路情報を提供し、学校・生徒・保護者が一体となった指導で国公立大学進学率40%以上をめざす。		
		年3回以上の個別面談の実施で進路意識の高揚を図る。学校行事や小論文指導等で総合型選抜や学校推薦型選抜に対応できる力を育成する。		
	生徒・保護者・地域の期待に応える教育実践	卒業後も置かれた状況の中で自ら考え行動できる人材となれるよう、教育活動全般をとおした指導を継続する。		
		差別やいじめを許さない環境を整え、生徒の人権意識高揚に努める。特に課題を抱えた生徒との関わりや保護者との連携を密にする。		
事務部	1 適正な事務処理	職員間の相互チェックを徹底し、適正な事務処理に努める。監査等での指摘ゼロ		
	2 予算の有効活用	本校の学校運営方針に沿った、効果的・効率的な予算執行		